



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1751 回例会 (最終)

平成 25 年 6 月 24 日(月)

18:30～ 料亭「美登利」

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「手に手つないで」

3. 出席報告

会員総数 53 名 出席者数 43 名

出席率 81.13% 前回修正出席率 66.41%

4. 会長スピーチ

副会長 阪口 洋一 君

皆さん、今晚は。花田会長が所要のため例会に出席出来ませんので、私が代理でスピーチをさせていただきます。会長の今年度のクラブ運営方針は、「グッドコミュニケーション&クイックレスポンス」をテーマに情報の共有と全員参加、すばやい行動を持って不信感のない活動的で平和なクラブを推進する、というものでございます。



重点項目として、

☆会員増強と出席率の向上

☆会員増強やロータリー認知向上のために、広報活動の積極的な推進

☆国際交流と新世代プログラムへの積極的関与

☆ロータリーファミリーの結束強化

☆同好会の充実

以上の方針に沿って 1 年間活動いたしました。

会員増強に関しましては、諸般の事情で退会された方がおられることは誠に残念ですが、新しい会員として、山田さん、角谷さん、田中さんの若い方に入会していただきました。このことは、海南東 RC の将来にとって非常に喜ばしいことと思います。

行事としては、3 回の IDM で皆様の貴重なご意見を頂きました、温暖荘園での月見例会、ロータリーファミリーハイキング（根来寺周辺）、海南 3 クラブの合同例会、海南市での清掃活動、新春夫婦例会で台湾彰化東南 RC との合同例会、藤白での花見例会、献血例

会、家族例会で神戸にいったこと、職場例会で紀陽除虫菊(株)さんにお世話になりました、たんぼぼの会と浜の宮でのカヌー体験、米山奨学生の代さんとの交流、例会で多くのお客様に卓話していただきました。楽しいことが沢山ありました。

計画に対して、出来たこと、至らなかったこともありますが、各委員会の委員長並びに委員の皆さんは自分の仕事、役割をきっちりこなしていただき感謝申し上げます。長いようで短く感じたこの一年間、皆様方には本当にお世話になり、ご協力頂きましたことに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

5. 幹事報告

幹事 中西 秀文 君

○解散のお知らせ

堺北西南西 RC 6 月末をもって国際ロータリーを脱退し、解散致します。

6. 乾杯

会長エレクト 小椋 孝一 君

今年の役員の皆さん、一年間、ご苦勞様でした。来年度も何卒よろしくお願いします。会員の皆様の健康を祈念して「乾杯！」



7. 閉会点鐘

次回例会

第 1752 回例会 25 年 7 月 1 日(月)

19:00～ 海南商工会議所 4F

会長方針発表 新旧会長・幹事バッジ交換

ROTARY INTERNATIONAL®
THE ROTARY FOUNDATION®

平和への願いとともに国際大会が閉幕

リスボンでのロータリー国際大会は、6 月 26 日(水)、平和への誓いとともに閉幕しました。閉会の直前には、独自で画期的な方法で平和のメッセージを広げたロータリークラブの表彰が行われました。

「奉仕を通じて平和を」のテーマの下、地域社会で平和を推進することをクラブに奨励した田中作次 RI 会

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花田 宗弘 幹事：中西 秀文 SAA：那須 正志

<http://www.kainaneast-rc.jp>E-mail: info@kainaneast-rc.jp

八潮ロータリークラブに入会して、「超私の奉仕」という理念を学んだという田中会長。「ロータリーを通じて私が理解できたこと、それは、自分が働く意味は、人々に幸せを与えるためだということです。自分の利益のためだけでなく顧客のニーズに尽くしたいと考えました。そうすることで顧客の満足につながるだけでなく、会社の従業員の生活も良くなります。私は今では、前とは異なる観点でビジネスを捉えています。ロータリーの奉仕とは、自分のクラブ内だけに限定されるものではありません。私たちが人々のために行うことはすべて、よりよい世界の実現につながります」国際奉仕に取り組み、人々の基本的ニーズを満たすことを通じて、ロータリーは日々、平和の実現に向けて貢献していると田中会長は続けます。会長としての一年間、各地でロータリアンがさまざまな方法で平和のために貢献する様子を目にしてきたことに触れ、平和について考えるよう参加者に促しました。「ここリスボンでの大会は、世界のあるべき姿を知る一つの機会となります。世界をより良くするために、全大陸から集まった人々が、互いの違いを越えて、真に重要なことに取り組むことができます」

その他の大会ゲスト

大会初日には、田中会長に加え、ポルトガルの社会保障相であるペドロ・モタ・ソアレス氏も講演し、平和構築やポリオ撲滅活動におけるロータリアンの貢献を称えました。「ロータリーが取り組む重要課題は、ポルトガルにとっても、またほかの国々や世界にとっても、重要な課題です。ロータリアンは私利私欲よりも、世界のためになることを優先させています。私たち政治家も、もっとこの姿勢を学ぶ必要があります」開会本会議の締めくくりには、4人組のヴォーカル・グループ「イル・ディーヴォ」がパフォーマンスを披露しました。4人とも異なる国出身（スイス、スペイン、フランス、アメリカ）のメンバーたちは、互いの違いを乗り越えて共通の目的のために協力するという点で、ロータリーと共通していると話しました。

出席したロータリアンの声

本会議に出席したロータリアンからは、平和について考える声が聞かれました。米国のロータリアン、ビル・トンプソンさん（ポートオレンジサウスデイトナ・ロータリー・クラブ所属）は、平和に重点を置いたことはとてもよかったと話します。「特に今、世界各地で紛争が続いている状況ですから、ロータリーのような組織が活動し、変化をもたらそうとしていることを心強く思いました」

ジンバブエのロータリアン、アサーム・ムソンザさん（ゲル・ロータリー・クラブ所属）は、闘争の絶えない母国について触れ、次のように話しました。「平和は大切なテーマです。平和とは単に村同士が争わないだけでなく、心の平和も意味します。人々の心が平和であれば、人と争いたいとは思わないはずです」

6月はロータリー親睦活動月間です

ロータリーとゲイツ財団が

ポリオ撲滅のパートナーシップを拡大

ロータリーとビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、リスボンで開催中のロータリー国際大会にて、ポリオ撲滅活動を支援するパートナーシップの拡大を発表しました。この新しいパートナーシップでは、2018年までの5年間、ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対し



して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすることとなります（年間3,500万ドルまで）。これにより、最高で5億ドル（約500億円）の資金確保も可能となります。世界ポリオ撲滅推進計画（GPEI）が最終局面を迎えている現在、2013年4月の世界ワクチンサミットにて、2018年までにポリオ撲滅を目指す撲滅計画が立ち上げられました。この計画では55億ドルの資金が必要とされ、サミットを通じて40億ドルの寄付が確保されましたが、まだ15億ドルが不足しており、予防接種活動の減速が懸念されています。今回のパートナーシップ拡大は、この懸念が実際の脅威となることを防ぐために決定されました。ゲイツ財団のCEOであるジェフ・レイクスさんは、GPEIの主要パートナー団体とゲイツ財団に加え、ロータリーのネットワークがあれば、ポリオを撲滅できるだけでなく、公衆衛生の取り組み全体を変革することができると話しました。ロータリーとゲイツ財団は、ポリオ撲滅のために2007年から協力しています。以前には、ゲイツ財団からの3億5,500万ドルの寄付に対して、ロータリーが2億ドルを上乗せすることを目的とした募金活動が実施され、その結果、ロータリアンの尽力によって2億2,870万ドルを上乗せして寄付することができました。今後、資金調達をさらに強化していくためには、より多くの人にポリオ撲滅活動について知ってもらい、各国政府のリーダーに働きかけていく必要があります。本会議では、世界保健機関のポリオ担当副責任者であるブルース・アイルワードさんによる講演も行われました。撲滅計画の最新情報を説明したアイルワードさんは、ポリオ撲滅というゴールが目の前に迫っていることを指摘しつつ、そこにたどり着くには細心の注意と努力が必要となることを強調しました。「今、私たちには、撲滅活動を完遂する計画と、その計画を遂行するロータリアンという力強いバックアップがあります」ロータリーのポリオ撲滅大使である女優のアーチャー・パンジャビさんは、2年間のインド生活で、ポリオによって足が麻痺した人が地面を這う姿を見たときの体験談を紹介し、そのときの光景が、何年間も自身の心に深い影を落としていたと話しました。その後、2011年にロータリーのポリオ撲滅キャンペーンに参加したパンジャビさんは、ポリオの犠牲者が子どもたちであること、そして、ポリオ撲滅活動を通じ

A woman with dark hair tied back, wearing a red sleeveless top and a dark skirt, is speaking at a podium. She is smiling and has her hands clasped in front of her. The background is dark with some stage lighting.

ロータリーのポリオ撲滅大使となった理由を語る女優のアーチー・パンジャビさん。写真提供: Monika Lozinska/Rotary International

**「2014 年末までにポリオ感染抑止は可能」
と独立監視委員会**

ロータリー友の会の読後感想文

ロータリーの友 2月号(2013年)ヨコ書 (22ページ) タイトル 心の残るロータリー体験 6クラブに選ばれた私のなるために

昨年、幹事職を終えて気が緩み、ロータリーに対する情熱も薄れ掛けている私に、檜皮さんの心に残るロータリーの体験を読ませて頂き、改めて13年間のロータリーライフを思い起こさせてくれました。SAA、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、幹事と勉強の場をたくさん与えて頂き、諸先輩の皆様、そしてRCの友達に助けられ、充実したロータリーライフを楽しんでくることが出来たこと。特に、たんぽぽの会との交流会カヌー乗艇体験での子供達の喜ぶ顔、そしてご両親からの感謝の意を伝えられた時の喜びは、私にとって一生忘れることの出来ない体験となったこと。又、国際奉仕では、会員の皆さんのご協力で、たくさんの中古PC、テレビ、ミシン等をセブ島に送り、後日、国際奉仕スペシャリストの寺下さんのお世話で現地を訪問したとき、檜皮さんと同じ経験をしました。ゴルフクラブへ行く道すがら、早朝にも拘らず、ロストボールを売り歩く少年、路上生活をしているとのこと、キャディーさんの売春など、同じ女性として心が痛んでなりませんでした。この様な体験から、まだまだ、男社会のRCですが、積極的に女性会員増強に努め、女性の目線で、きめ細やかな奉仕をしていかなければならないと云う思いに駆られました。檜皮さんが最後の文章の締めくくりに、「RCが私を選んだと思えるロータリアンになりたいと思う」と書かれています。全く同感です。そして、僅か入会して1年で、この様な考えを持っている女性ロータリアンが居ることを誇りに思うと共に、私を発奮させてくれました。

ロータリーの友 3月号 横書き 38ページ
タイトル ハーモニーが大切

世界を見渡せば食糧、エネルギー、経済、領土、宗教等で紛争の種は尽きない。2640 地区のロータリーをみても紛争はある。人間が生活するうえで、どんなに小さなコミュニティでも紛争は起こる。しかし、多くの人間は平和を望む。平和を考える上でロータリアンの信念である「奉仕の心」が大切と考える。他者を思いやり、信頼関係を築くことが平和への第一歩ではないか。価値観は人間一人ひとり異なるが、その多様性を許容し、それを認めようとする心が人と人との結びつきを強くして、調和のとれた世界をつくる力になると感じられた。

ロータリーの友 2012.10月号 横書き 6ページ
10月は職業奉仕月間

◎今も輝くシェルドンの職業奉仕理念

田中 作次 R. 1 会長演説

2012.1 月於アメリカ・サンディエゴでの国際競技会

でのスピーチ（当時エレクト）1．顧客満足の迫及が成功の道

私は、「奉仕を通じて平和を」という概念に難しい哲学はないと思っています。私は、哲学者ではありません。一介のビジネスマンです。ビジネスマンとしての長年の経験から私は、事業を成功させるには、顧客の満足を追求する以外にないという結論に達しました。顧客に喜んでもらえれば、事業は成功します。そうすれば私自身も幸せになれる。しかしそれは、事業が成功しているからだけではなく、人を幸せにしてあげることが出来たという認識があるからです。ロータリーのビジネスは、利益の追求ではなく、平和の迫及です。ですから私たちにとって、報酬はお金を手に入れることではなく、自分の努力によってより良い、より平和な世界が実現するのを見届けることにあります。

●柳生 享男

会長エレクト RON BURTON の記事を読んでロータリーを実践し、みんなを豊かな人生を

ロータリアンは十人十色です。入会した理由も人それぞれ、ロータリーにとどまり続ける理由も人それぞれ。ロータリアンが関われば、またロータリアンが積極的になれば、人々の人生を豊かにすることが出来る。

この記事に感銘を受けました。実際、ここ最近例会に出席しても楽しくなく、自分自身に何のプラスにならない等々とクラブにとどまり続けるのが無駄のように思っていました。しかし、ロータリーに積極的に関われば人々、自分自身が豊かにすることが出来るの文章に今一度、掛けてみたいと思います。

●中尾 享平

ロータリーの友 1月号 縦書き 友愛の広場 19ページ タイトル コーヒーの効用

鳥取ロータリークラブ 塩 宏様 鳥取赤十字病院 副部長（内科医）

近年コーヒーが、糖尿病やガンなどの予防に役立つ、と世界各国の医学会で話題になっているそうです。コーヒーの効用には、

①1日5～7杯のコーヒーを飲んだ場合、飲まない人に比べ、糖尿病にかかるリスクが半分程度に低下するそうです。コーヒーに含まれるクロロゲン酸が血糖値の上昇を抑制して、糖尿病の発症を予防しているそうです。②毎日コーヒーを飲む人では男女とも肝臓ガンの発症リスクが約半分に下がり5杯以上飲む人では四分の一まで下がるそうです。他に大腸ガン、子宮体ガン、口腔ガン、食道ガンの発症リスクも下がることがわかっているそうです。クロロゲン酸がガンを抑制しているとの事です。③自律神経である交感神経の働きを高め、脂肪の代謝を高め、肥満を抑制するそうです。④脂肪肝を改善し、動脈硬化を予防するそうです。⑤肝臓に作用し、利尿効果を促進し、血清尿酸値を低下させ、痛風の発症を減らす。⑥脳内血流を良くし、認知症やパーキンソン病の予防効果もありますとの事。⑦運動前にコーヒーを飲むと、ダイエット効果を

高め、運動後の筋肉痛を軽減しますとの事。コーヒーの効能を高めるための適量として1日5～7杯を勧めますとの事です。私はお茶よりもコーヒーが好きで20 数年間、朝食後、出社後、朝の休憩、昼食後、午後の休憩と最低でも5杯、来客があれば、その都度飲んでいきます。1日5～7杯は必ず飲んでいる計算になります。生活習慣病予防に成っていると信じて、続けたいと思います。

●木地 義和

ロータリーの友 1月号 縦書き 19ページ
タイトル 反省の記

本文を一読して思ったこと、投稿された会員さんは、チャータメンバーだからか？反省をすることができる人は、すばらしい人だ。地区で隠密行為を行うメンバーは、早く己の行為に気づき反省、（真の反省）を

●那須 正志

ロータリーの友 3月号 横書き 40ページ
タイトル 心に残るロータリーの体験7 入会して得た新たな楽しみ

4か月以上例会出席率100%が続いていることを読んで凄いと感じた。我がクラブも何かを考えもっと出席してくれる例会に！！

●深谷 政男

ロータリーの友 2月号 縦書き 20ページ
タイトル 金婚の夜

従来はロータリーの友はパラパラとめくり特に記憶に残らなかったですが、今回感想文と言われ次々と読んでゆくと【金婚の夜】とのタイトルに目がとまり、最近私自身が年に数回乗っているあの大型客船に他人が乗った様子の記事を読んで非常に親しく感じ、何度も読み返し自分も参加している様に感じました。やっぱり本を読むことも必要ですね！！ネット、テレビだと必要な物を目で追うだけで記憶に残りにくいです。これからも時々今回のような強要をして下さい。本当に本を読まなくなった我々の為に！！

●角谷 太基

ロータリーの友 1月号 横書き 41ページ
タイトル 「掛け橋の翼」交換事業

大船渡西ロータリークラブ様の「掛け橋の翼」の交換事業を読み「勇気」と「元気」をいただきました。また「足を知る」ということの大切さをあらためて学びとることができました。恵まれた環境の中でロータリアンのメンバーとして加入させていただきました私にとって、海南東ロータリークラブの一員として、ロータリー活動を通じて、世の中のために何ができるのかを考えさせられる記事でもありました。気づきをいただき、ありがとうございました。

●楠部 賢計

ロータリーの友 2月号 横書き 1ページ
タイトル R I 会長メッセージ「超私の奉仕」が生みだす希望と平和

2012～13年のR Iテーマ『奉仕を通じて平和を』このメッセージは多分R I世界平和フォーラムの第1回(期3回)がベルリンで『国境のない平和』と云うテーマで行われた内容の文章で少々難解ですが『超我の奉仕』を再考させられるメッセージだと思います。内容にふれると長くなるので省きますがこのような高邁なR I会長メッセージを読むと2640地区の現状が余りにもひどいと嘆かざること山の如しです。その張本人が2月号縦書き12頁 俳壇 2句目『冬支度うながすやうに風騒ぐ』米田眞理子俳句を川柳でお返しです。

「騒ぎ過ぎ こわれかけてる2640区」
「それはそれ そろそろ終りにしませんか」

●谷脇 良樹

ロータリーの友 2月号 横書き 36ページ
タイトル ロータリー始まりの日

ロータリーよ初心に帰れ 2640地区よ初心に帰れ 我にも又初心に帰れ

●田中 祥秀

いつもお世話になります。まだ入会させて頂いたばかりなのでよくわからない事が多いのですが、感想といたしましては本当に自分に言い聞かせる事が多いです。

●阪口 洋一

ロータリーの友 2月号 縦書き 18ページ
タイトル 中国との領土問題と米山奨学生

我が国のRCは多数の米山奨学生を中国より受け入れお互いに友好を深めているのに国家間では多くの問題をかかえている。表題の記事にあるように、米山奨学生を通じて日中間の関係改善に寄与していただければと思う。

●岩井 克次

ロータリーの友 3月号 縦書き 20ページ
タイトル 原発事故の放射性物質の簡単な除染法

EM液の活用は私の娘から知らされているので、すばらしい除染法だと思いますので、もっと広めて行く方法を実施し、合わせて農業への活用等も広めて行ってはどうか。

●千賀 知起

ロータリーの友 3月号 21ページ
タイトル 野生の馬との出会い

悠久の大自然が感じられた。時間が出来たら、こんな旅行も良いなと思った

●小椋 孝一

ロータリーの友 2月号 縦書き 22ページ
タイトル パークゴルフ大会で血圧測定・健康管理
「健康生き生きパークゴルフ大会」の記事でパークゴルフ競技では血圧測定で競技前後の血圧はあまりかわらないと言っていました。当クラブ内でも紀美野

町にパークゴルフ場があるので、この記事のパークプレイヤーに伝えてあげようと思います。

●吉川 博之

ロータリーの友 2月号 縦書き 2ページ
タイトル チェルノブイリ原発事故のその後と福島

資源のない日本では、原発は必要不可欠と思いますが安全性については充分すぎるくらいの配慮が必要と存じます。人類は火を操れるようになって今の文明が進歩したと思いますが、放射能を十分に操れるようになることで人類はさらに進歩するのではないのでしょうか。

●倉橋 利徳

ロータリーの友 2月号 縦書き 2～6ページ
タイトル チェルノブイリ原発事故のその後と福島

チェルノブイリ原発事故の30km圏内の地域には原発事故から26年たっても人が住むことができない現実があります。おそらく福島も同じようなことがおこると思われます。ただ現在原発が停止しているため電気料金が上がり、電力会社は巨大な赤字をかかえています。このままではだめなことは明らかであり、原子力政策、新エネルギー政策に関しても考えていく必要があると思われます。

●田岡 郁敏

ロータリーの友 2013年4月号
2650地区宗教学者 山折哲雄さんの日本人のころと復興を読んで

子どもは放置すると野生化する という言葉は非常に今の日本の現状を現していて興味深いところです。事なかれ主義で見てみないふりをしていると子供だけでなく大人達もまさに野生化し野獣化することです。この一文になるほどな、と思い当たる節が多々あります。注意しないとエスカレートしていくことは自分にも当てはまり、【放置しないでいかに野生化する人間を普通の当り前の人間にするかということに心を砕いてきた】、という文には説得力があります。スポーツ、軍隊、宗教、学校の4種類の改善の手段として挙げておられますが、ある種いびつな権利意識や平等意識などもあいまってその手段さえもうまくいっていないことが多いと思います。まさに今の日本に必要なのは、間違っていると思うところを放置しない勇気と行動力ではないかと、なかなか自分には出来ていませんが思う機会ではありました。

●奥村 匡敏

ロータリーの友 2月号 縦書き 2ページ
タイトル チェルノブイリ原発事故のその後と福島

原発事故の恐ろしさについて再認識したと同時に福島で被災された人々の心配がどれ程大きいことか、本当に心がいたむ思いがする。

原子力発電は事故をおこした時の自然破壊、人体への影響、使用済燃料の処理方法等、問題が多すぎるのに解決策がない状態で使用するのはいやめるべきである。